

令和7年度 第1回川崎市社会教育委員会議麻生市民館専門部会 次第

日 時 令和7年5月21日（水） 午前10時00分～

場 所 麻生市民館 第1会議室

次 第

- 1 開会
- 2 館長挨拶
- 3 資料確認
- 4 議事
 - (1) 令和7年度の主な事業について
 - (2) 令和6・7年度麻生市民館専門部会議題について
 - (3) その他

次回以降の予定

第2回 令和7年8月下旬頃予定

第3回 令和7年12月頃予定

第4回 令和8年2月15日（日）午後1時30分～

（市民自主企画提案会・選考委員会を同日に開催いたします。詳細については別途ご案内いたしますので、この日程でご予定くださいますようお願い申し上げます。）

領域	事業名	事業内容	事業数 (予算)	実施計画												事業実施状況			
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
3 市民学習・市民活動活性化学習事業	市民自主学級	市民と市民館の協働により、地域や社会の課題解決に市民自らが取り組むために必要な学びの場を創り、市民の主体的な学習活動や市民活動を活性化する。	千円 1 (300)														愉しもう 新しいご隠居スタイル 全5 ←→		
	市民自主企画事業	地域や社会の課題解決や地域の特性に応じた生涯学習・文化芸術の振興や、市民の交流・ネットワーク化の活性化等を目的として、集会、講演会等多様な形態の学習事業を市民と市民館が協働で実施する。	2 (160)														高齢者が楽しく暮らすために 9月2日～9月10日 全3回 ←→ 図書館ってなんだろう～ おしゃべりな図書館 全5回程 ←→		
	市民エンパワーメント事業	市民エンパワーメント研修	市民活動・ボランティアに関する学習機会を提供することにより、市民自らが考えながら生活・地域課題等に取り組むことができるように、市民主体の地域づくりを支援する。	1 (60)															
		市民講師活用事業	様々な分野において豊富な経験や資格、技術等を持っている市民が、地域の生涯学習における身近な学習支援者「市民講師」として活躍できるよう育成・支援を行う。	1 (46)														未定	
		PTA活動研修	子どもの健やかな成長を支えるPTA活動のあり方等についての学習機会を提供することにより、各学区や麻生区の特徴を生かしたPTA活動の活性化を図る。	1 (30)														4月19日～6月3日 全5回 ←→	家庭教育学級報告会 ↔
		生涯学習交流集会	いきいきとした麻生区の社会教育の展開に向けた、市民と職員による率直な意見交換を通して、市民が主体的に学ぶ地域の生涯学習環境の醸成を図る。	1 (50)															3月8日 ●
		地域の寺子屋事業に関する研修等（情報交換会等）	「地域の寺子屋事業に参画し、開設、運営等をコーディネートする市民の育成及び支援を目的とする研修等を実施する。	1 (-)														「寺子屋ブラッシュアップ研」 ●	
	表現・舞台活動支援事業	様々な手法による市民の主体的で自由な表現活動を振興し、地域に根差した市民の文化創造に資する。	- (-)																
学習情報提供・学習相談事業	市民の主体的な学習活動・市民活動の支援策の一環として、様々な学習情報・市民活動情報を収集・整理し、適切な形で公開・提供する。また、求めに応じ、市民及び市民グループなどの生涯学習に関する相談に対し、情報提供、助言を行う。	1 (53)														←→	通年（8月を除く）		
4 市民・行政協働事業・ネット	行政区・中学校区地域教育会議推進事業	行政区・中学校区における学校・家庭・地域の連携による教育への市民参加システムづくりとネットワークづくりを支援・促進し、地域の教育力の向上をめざす。	1 (-)														麻生区地域教育会議 通年 ←→	教育を語るつどい、青空こども会議等	
	課題別連携事業	地域での子育てや福祉・環境・まちづくりなどの課題解決に協働して取り組むため、関係機関との連携による会議及び必要な事業を実施する。	1 (-)														6月3日「防災スマホ講座」全1 ●	子育てフェスタ 3月20日予定 ●	
	地域学習・文化団体連携推進事業	地域の学習活動を推進している学習・文化団体（サークル連絡会・文化協会・PTA等）とのネットワーク化や事業連携の推進を通じ、市民の主体的な学習活動の活性化、地域の文化や教育力の向上をめざす。	3 (-)														麻生市民館サークル連絡会 通年 麻生区PTA協議会 通年 麻生区文化協会 通年 ←→	あさおサークル祭 6月7日～8日	
5 現代的課題対応学習事業	地域コミュニティ交流・学習事業	地域コミュニティの課題解決あるいは地域コミュニティの活動及び交流に係わる学習機会を提供し、市民自らが地域の課題解決や活動及び交流に参加していけるよう支援する。	1 (-)														「ひとのわ」プロジェクト 通年 ←→	市民が安心して地域活動を始められるような居場所支援事業	
	現代的課題学習事業	現代的、今日的な課題に係わる学習機会を提供し、今を生きる市民の学習を支援する。	1 (45)														「人間関係とわたしのトリセツ」 ←→		

領域	事業名	事業内容	事業数 (予算)	実施計画														
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
6 市民館学習環境整備事業	社会教育委員会議 麻生市民館専門部会	川崎市社会教育委員会議規則に基づいて行う。	1 (-)															
	刊行・広報活動	(1) 教文・市民館活動報告書、学習記録や調査研究報告書の作成を行い、学習活動や地域情報の蓄積と公開を図る。 (2) 生涯学習に関する情報を提供するため、市民館だより、ホームページなどの作成を行う。	1 (594)															
	情報機器等整備	総合教育センター視聴覚センターの市民への直接的な窓口として、教文・市民館で情報機器等の貸し出しを行う。	1 (-)															

■生涯学習支援課の事業

事業名	事業内容	事業数 (予算)	実施計画												事業実施状況			
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
麻生区生涯学習推進会議	川崎市生涯学習推進計画および麻生区生涯学習推進計画に基づき、麻生区生涯学習推進会議を設置し、区における生涯学習推進体制の整備や生涯学習事業の連絡調整を行い、麻生区の生涯学習を推進する。	千円 1 (-)																
課学 習 対 事 業 心 業	里地・里山保全 推進事業	1 (844)																
企 画 委 員	麻生市民館 多文化共生推進事業	1 (-)																

令和7年度 麻生市民館 工事等の実施計画

(令和7年5月20日現在)

工事名	内容	予算 (千円)	実施計画												事業実施状況			
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
麻生市民館受水槽更新工事	受水槽 更新工事																	

令和7年度 麻生市民館補修工事実施予定

実施名	内容	実績 (千円)	実施状況
第2、3会議室 床張り替え	剥がれかけている床材の貼り替え	見積依頼中	2025年中
和室換気扇補修	相談室天井裏に設置されている和室換気扇の更新	見積依頼中	2025年中

5 現代的課題対応学習事業	地域コミュニティ交流・学習事業	地域コミュニティの課題解決あるいは地域コミュニティの活動及び交流に係わる学習機会を提供し、市民自らが地域の課題解決や活動及び交流に参加していけるよう支援する。	2	1 : 「図書室ひろば」 通年随時	1:図書室を活用して地域のために何か始めたいきっかけづくりや参加者との交流促進のために実施する。
	現代的課題学習事業	現代的、今日的な課題に係わる学習機会を提供し、今を生きる市民の学習を支援する	1 (47)	2 : 「軽スポーツ&レクリエーションで健康&笑顔に」 月1回土曜 7/5~3/31 「リアルな体験から学ぶ」 親子防災講座！ 7/12~7/19 (全2回)	2:自らの健康だけでなく、他者の心身の健康にも気遣いながら過ごすことで、地域全体のウェルビーイング向上にもつなげる。 避難所に見立てた夜の岡上分館で、実際に被災した状況を想定した避難の体験をすることで、いざという時に必要なことを知り、行動につなげられるようにする。

令和7年度 麻生市民館岡上分館 管理等に関する実施計画

(令和7年5月20日現在)

◆工事・維持管理に関する実施事項

実施名	内容	実績 (千円)	実施状況
館内照明のLED	館内照明のLED化	他局予算	2025年中
植栽管理業務	分館敷地内の樹木の剪定及び除草	見積依頼中	通年
【印刷室】空調機設置工事	空調機設置	見積依頼中	夏季前実施予定
【印刷室】畳表交換	劣化した畳表を交換	84	5月実施
【談話室奥】改修工事	長年使用されていないシャワー室を書庫・倉庫に改装する工事を行う	見積依頼中	2025年中
【体育室】カーテン交換	劣化したカーテンの交換	90	2025年中
卓球台調達	劣化した卓球台の1台を廃棄し、新たに調達する	176	6月実施

◆その他改善事項

実施内容	実績 (千円)	実施状況
隣地境界部への壁の造作	見積依頼中	夏季前実施予定
敷地周囲フェンス及び2階体育室前手すりの塗装	見積依頼中	年後半に実施予定
掲揚ポールのロープ等の交換	見積依頼中	6月中

令和6年度 第4回川崎市社会教育委員会麻生市民館専門部会 摘録

■日時 令和7年2月15日(土) 午後1時00分～午後5時40分

■場所 麻生市民館大会議室

■出席委員	麻生区地域教育会議議長(部会長)	井上 俊夫
	市民委員(副部会長)	濱田 富美恵
	麻生区町会連合会常任理事	岡倉 進
	市民委員	田澤 梓
	和光大学現代人間学部非常勤講師	角田 季美枝
	麻生市民館サークル連絡会副会長	平出 圭子
	麻生区文化協会副会長	横川 博行
	麻生区PTA協議会副会長	前村 嘉昭
	川崎市麻生中学校長	金子 三弘

■事務局 麻生市民館相澤館長(岡上分館長事務取扱)、管理係内藤担当係長、社会教育振興係松本係長、齊藤課長補佐

■傍聴者 2名(企画提案会1名、選考委員会(非公開)、議事(専門部会)1名)

■議事等

1 令和6年度の主な事業・工事予定について

事務局(松本係長、内藤係長)

資料に基づき説明

横川委員

市民講師活用事業「俳句入門基礎講座」について、若い世代を対象にした募集であったが、参加者の状況はいかがか。また、内容としては句会形式か。

事務局(松本係長)

40代・50代の参加者もいるが、ほとんどは60代以上となっている。

はじめは基礎的な内容、最後は句会形式と聞いている。

田澤委員

市民講師事業では活動報告書等の提出は求めているのか。

事務局(松本係長)

報告書は特に求めている。市民館で参加者アンケートをしている。

前村委員

市民講師事業は市民講師の育成事業であり、講師に内容を振り返ってもらうことで今後の活動につなげてもらうものではないか。

角田委員

参加者アンケートを実施しているが、参加者は終了後に記載する時間が少ない。また、アンケート内容も事業に応じて考える必要がある。市民講師事業で講師を行うだけでは今後につながらない。

事務局（松本係長）

今回の講師は実績があり、本来は市民講師事業には該当しないが、若い世代に俳句を伝えたいとの強い要望があり、体力的に次年度以降では厳しいとの申し出であったため、市民講師事業としておこなっている。

講師が発信したいこと、参加者が求めていること等を考えて事業を行っている。

濱田委員

保育ボランティア研修の実施はどうなっているのか。

事務局（松本係長）

今年度は実施しません。ボランティアさんの中で活動は見守り、または保育との考えがあり、今後話をしていきたいと考えている。

濱田副部長

保育ボランティアの高齢化、2歳以上は保育園に行く子どもが多く、預かるのは2歳未満が中心のため見守り活動と捉えている。

事務局（松本係長）

保育受入れには保険加入を条件としているが、保育対象者が少なく、保険に加入できない状況となっている。

2 令和6・7年度協議テーマの選定について

井上部会長

テーマについて、意見ををお願いします。

角田委員

前回、指定管理導入に関して中原・高津市民館の提案書確認について意見があったが、どうなっているか。

事務局（内藤係長）

教育委員会に確認したところ、提案企画の内容は黒塗りとなってしまうとのこと。

角田委員

選定委員会の結果報告と黒塗りであっても提案書と仕様書を見比べれば、ある程度確認できるのではないか。

井上部会長

中原・高津市民館の資料と多摩・麻生市民館の仕様書を確認したい。

事務局（内藤係長）

指定管理者に対して基本的にはこれまでの活動を引き継ぐ形で行うが、新たな事業を追加して行うよう調整することは難しいと考えている。

平出委員

表現・舞台活動支援事業が行われていないが、どうなっているのか。

事務局（齊藤課長補佐）

この事業は市内市民館のうち麻生市民館だけで行われていたが、運営を行っていた団体「サウンドアンドビジョン」の代表者の不幸や高齢化により継続が困難となり、事業継続を断念したものです。学生への参加声掛けなども実施しましたが、運営できる体制はできませんでした。

この事業の実施は、ホールの利用促進もあったと聞いていますが、現状のホール予約状況を見ると、ホール利用促進は目的を達成できたと考えられる。

岡倉委員

市民館事業は無料で参加できるが、市民活動センターの事業は千円の参加費がかかる。指定管理導入後はどうなるか

前村委員

専門部会は指定管理者に意見は言えるのではないかと。これまでの話で指定管理に関する疑問や不安などがそれぞれ違うように感じる。

麻生市民館を今後どうしていくか。指定管理について確認していくべきことなど、時間軸が違う協議をしている。

事務局（松本係長）

しゃべれる・ふらりと来られる市民館、こういう市民館にする具体的な協議をお願いしたい。前期専門部会では「一箱古本市」を実施したが、これは中庭の有効活用の協議から実施したものの。施設の有効活用では、3階に学習スペースを設置したが、現在は多くの学生さん達に利用いただいている。

平出委員

指定管理導入によるデメリット・メリットを知りたい。

岡倉委員

専門部会は指定管理後も続く。麻生市民館の課題等では相談事業がある。現在、やまゆり、社協、市民館の3か所で行っているが、今後はどうしていけばよいか。

前村委員

指定管理になる課題、市民館としての課題、短期・長期の課題を区別して検討する。

横川委員

中原市民館は4月から指定管理になるが、1月から事務室近くに相談窓口が出来ている。

相澤館長

指定管理導入で今までの活動は変わらない。指定管理者が独自事業を実施する場合は区に承認を求める必要がある。

課題として岡上分館では、部屋を借りる人以外の利用がない。あまり利用されていない図書室を知ってもらうことや、つながりづくりを目的に事前申込不要でふらっと立ち寄れるような取組を今年度から実施している。

角田委員

（課題としては）利用者も社会教育、生涯学習をわかっていない。

若い世代が利用しないという点も以前からいわれている。指定管理後の事業のモニタリング、

アンケートについてはどうか。

岡倉委員

市民館だよりの内容についてはどうか。アンケートの検討はよい事務局（松本係長）

講座等では仲間づくりも目的。アンケートを書く時間が無いとの話があったので、講座終了何分前にはアンケート記載時間にすることもできる。

相澤館長

岡上分館では講座参加者の同窓会を行い、グループづくりにつなげている。

田澤委員

専門部会は市民館の円滑な運営を図るために協議するのではないか。

アンケートの話があったが、利用者の声を求めるのであれば、講座参加者ばかりではなく、学習コーナー利用者など、対象を検討してはどうか。

濱田副部長

新たな事業を広げるのではなく今麻生市民館で実施している事業について検証していくべきではないかと思う。

井上部会長

指定管理については、中原・高津市民館の提案書・選考結果、多摩・麻生市民館の仕様書について準備してほしい。

事務局（内藤係長）

公表されている資料を準備します。

角田委員

市民館だより6月号に指定管理者制度が導入されることやスケジュール等について掲載できないか。

事務局（齊藤課長補佐）

市民館だよりは市民向けに発行しているが、指定管理者制度についての情報は事業者向けの内容と考える。

田澤委員

市民館だよりの効果はどのように把握しているか。市政だよりと配布方法に違いはあるのか。

事務局（齊藤課長補佐）

配布方法は、市政だよりは町会配布・ポスティングにより全戸配布している。市民館だよりは区内町会への回覧依頼及び主な公共施設等で配布しています。

効果把握は明確ではないが、市民自主事業参加者アンケートでは、講座を知った媒体で市民館たよりは11%、チラシ42%、友人・知人の紹介35%となっており、一定の効果はあると考えている。

なお、市民館だよりの入稿は概ね2月半前となっている。

前村委員

市民館だよりの効果現状で良いか。対象者を考えて見直し・改善が必要

平出委員

市民館だよりに問合せ先があるとよいのでは。電話番号はあるがメール等で受付できると良い
また、ルビがついていると読みやすい。

井上部会長

これまで指定管理について、社会教育事業や広報など話があったが、テーマとしてはどうしたら
らよいか。

テーマを広くとらえるため「指定管理後の麻生市民館のあり方について」として確認する。

3 その他

次回専門部会は5月中旬以降に計画しています。日程調整に協力ください。

【麻生市民館・岡上分館市民自主学級・市民自主企画事業企画提案会】 摘録

麻生市民館市民自主学級・市民自主企画事業提案会

13：26～提案会（提案者説明5分、質疑5分）

麻生市民館3件（学級1件、企画事業2件）

岡上分館1件（学級1件）

麻生市民館市民自主学級

・**愉しもう 新しいご隠居スタイル（希望のご隠居プロジェクト）**

質疑応答

田澤委員)

提案者はやまゆりでの活動実績が十分にあるのに、市民館の市民自主に申込みをした理由は。提案者)

やまゆりでは、私の印象が強く活動と一緒にいる人も決まってしまう。新たなつながりを求めたため。

角田委員)

説明の中で単発講座としての説明があったが、学級で提案になっているが。

提案者)

全回参加が困難な人でも参加できるようにと説明した。

角田委員)

若者に通じるとの内容説明があったが。

提案者)

若者に年寄りというイメージをなくしたい。

井上部会長)

今年度の講座参加者26人のうち麻生区民は。

提案者)

多摩区10人、女性が多かった。

麻生市民館市民自主企画事業

・**高齢者が楽しく暮らすために～（愉しい高齢者になろう会）**

質疑応答

井上部会長)

高齢者として良いテーマ。この事業は役所の仕事。行うのは大変と思う。

印刷費の金額が多いと感じるが。

提案者)

金額は概算である。デザインも併せてお願いする予定です。

角田委員)

事業内容では連続講座のほうが理解を深められると思うが、なぜ自主企画での提案なのか。

提案者)

1冊の教材を2回に分けて説明し、3回目で振り返りを計画している。1回のみでの参加でも教材で自習でき、参加しやすくしたいため。

浜田副部長)

説明の中でロコミに期待していたが根拠は。

提案者)

嬉しいこと等があったら他人に伝えたくなると思うので。

田澤委員)

ロコミで広がった場合、期間をあけて追加実施する考えはあるか。

提案者)

3回目の振り返りで終了します。

*終了後事務局

提案者からの事前相談で追加実施を行って回数を増やす話も出ましたが、相談を進めた中で、実施するメンバーの体力などを考慮して1回になったものです。

・おしゃべりな図書館一本と出会う、人と出会う（図書館ってなんだろうの会）

前村委員)

図書館はしゃべってはダメの認識でした。よい提案と思います。

提案者)

今年度事業では、参加者同士の会話時間はあまりとれなかったため、価値観の共有を主にしていきたい。

井上部会長)

事業の一箱図書館とは。

提案者)

イメージですが、向丘出張所で行っている私の本棚みたいに自分の好きな本を並べる。

井上部会長)

2年目の提案なので、提案書に今年度の反省点等の記載があれば良かったと思う。

提案者)

提案書提出時は今年度事業が継続中であったため記載できませんでした。

角田委員)

対話、前回の参加者同士の価値観の共有ということだが、その先に図書館について考えていますか。

提案者)

図書館は限られた人が集まるイメージ。本を使って広げていきたい。

岡上分館市民自主学級

・民話と巡る岡上古道（岡上懐古塾）

質疑応答

井上部会長)

ミカリばあさんとどんど焼きの関係について、地域によって風習は違うと思うので、歴史的な背景を調べてください。成果物への記載では、決めつけるのではなく節の1つなど記載に注意してほしい。

提案者)

ミカリばあさんは12月8日と2月8日の2回来る。悪いこと、斉の神、どんど焼きで追い払うと聞いている。岡上の歴史はかなり古く飛鳥時代。古地図を取り寄せて説明を求めたいが、予算的にどうかと思う。

浜田副部会長)

成果物作成の予算が少ないようだが。

提案者)

今年度岡上分館で作成したものを参考にしている。

角田委員)

団体構成員は岡上在住が少ないので、会員募集は考えていないか。

岡上の旧家の方に話を聞いてほしい。

今年度の専門部会の検討についての意見

角田季美枝（和光大学非常勤講師）

2025年5月15日

相澤悟・麻生市民館館長、松本清美・生涯学習振興課課長補佐（社会教育振興係）

専門部会委員各位

昨年度の専門部会で、来年度以降の指定管理者による運営を見据えて「今後の麻生市民館のあり方」を検討することになりました。そこで、今年度の専門部会の検討について、以下、意見を申し上げます。ご検討いただければ幸いです。

1 事前に資料がある場合は当日ではなく、少なくとも2週間程度前に委員に配布いただけないか。

理由：当日配布の場合、検討の時間が少なくなります。また、今までのように1週間前ということであると、みなさまの忙しさを考えると事前の検討の時間も厳しいのではないかと考えます。そこで、10日～2週間前に各委員の手元に資料が届くようにいただけないでしょうか。なお、可能であれば、PDFでメール添付し、紙資料でも郵送いただけますと助かります（紙資料で郵送の場合、同じ内容の資料を配布するのであれば、当日配布は不要と考えます）。

2 専門部会の検討回数を増やしていただけないか。

理由：例年の会議開催では最終回は市民提案事業の検討・審査になり、その回は実質、それ以外の議題の検討は不可能です。今回の検討テーマの検討は丁寧に行い、区役所や教育委員会、指定管理者団体への専門部会としての意見書としてまとめる方がいいのではないかと考えます。ただ、指定管理への移行を考えると、今年度中に検討したい項目のすべてでなくても検討成果をまとめる必要があります。ですので、会議回数を増やしてもらいたいです。どれぐらい増やすのかは、検討項目や委員や職員のみなさまの忙しさにもよりますので、検討して決める必要があります。

3 重点的な検討項目は「市民参加できる仕組みとは」「利用者や地域住民の声を把握する方法や活用方法」「地域との連携推進の方法」ではないか。

理由：時間が限られますので、何を重点的に検討するのかを決める必要があります。その際、現在公開されている仕様書の「業務上の留意点」の中の、以下の2点は、市民館が社

会教育施設であることから、市民の学びを支援し、地域課題の解決を担うような市民を増やすことが必要です。また、市民・利用者を増やすためにも必須ではないかと考えます。

「(6) 市民の自発的・主体的な学習活動の支援を目的とした施設であることを踏まえ、コミュニティ形成や地域における生涯学習に資するよう適切な管理運営を行い、また、施設運営に市民が参加できるような仕組みづくりに留意すること。

(7) 利用者や地域住民の声を把握して、地域との連携を推進し、地域に根ざした施設の管理運営を行うよう留意すること。」(傍線強調引用者)

具体的には、専門部会や利用者懇談会のあり方、市民館だよりなど市民と市民館をつなぐ媒体のあり方ではないかと思われます。その検討については、すでに指定管理者団体による運営が先行している、高津市民館、プラザ橋、中原市民館の状況も把握して参考にしながら検討できるといいのではないのでしょうか。

4 検討項目の絞り込みについては、短期・長期の課題を専門部会委員で整理する必要があるのではないか。

理由：3で重点検討項目を提案しましたが、重点を決めるには検討すべき項目の全体像を共有する必要があります。仮に整理したものを参考に添付いたしますので、それをたたき台にして、全体像を決め、何を重点項目にするのか議論ができればいいと思います。

5 指定管理団体による市民館運営だけではなく、区役所生涯学習支援部門や図書館も含めて考える必要があるのではないか。

理由：「今後の市民館・図書館のあり方」で示された3つの方向性（行きたくなる・まちに飛び出す・地域の力を育む）は市民館の指定管理団体だけではなく、区役所の生涯学習支援部門も取り組むものです。であれば、どこを市民館が分担するのか、という検討も必要ではないかと思われます。

また、麻生図書館はそもそも麻生文化センター建設時に「集会や学習会は市民館の集会室を使う」ことを前提にした設計がされていると聞いています。であれば、図書館の利用者の集会室利用も考える検討が必要ではないかと思しますので、市民館にのみ限定した議論はするべきではないと考えます。

以上

麻生市民館

事業名など	短期	長期	行きたくなる	まちに飛び出す	地域のチカラを育	その他
市民提案事業	運営団体へのマニュアル作成を、今まで提案した団体関係者と一緒に検討	多様なニーズをもった団体づくりにつながる市民提案事業	○	○	○	市民提案事業の報告発表時期を専門部会の市民提案事業審査の前にできないか
企画運営委員	平和人権学習の企画委員募集 本来企画委員を募集すべき事業の検討 企画運営委員へのマニュアル作成		○	○	○	市民館以外の場所での出前講座も検討できないか
憲法学習	どの社会教育振興事業で実施できるのか検討する		○	○	○	社会教育や主権者教育の基本のキ；学校教育でもあまり憲法学習してない（大学でも憲法学は必修ではないところもある）。市民館以外の場所での出前講座も検討できないか
指定管理者制度に関する学習/ 社会教育に関する学習	利用者懇談会についてのミーティングを実施してはどうか				○	公民館／社会教育についての学習を一度はしたほうがいいのか
ふらっと立ち寄る市民館事業	ウォール・ギャラリーの検討。それ以外の事業のトライアル		○			ウォール・ギャラリーは和光大学の先生に打診中
利用者懇談会	どういう開催方法・回数にするのかの検討	可能なら月1回開催	○	○	○	懇談会じたいをしゃべり場のようなサークルにし、利用者を増やす事業についても考えてもらってもいいのでは。指定管理者の評価も独自に行い、セルフ・モニタリングに活用。開催報告を市民館だよりも掲載
専門部会	委員への研修 議事録や活動報告書の公開					研修を兼ねた公開講座などを実施？ 紙で製本したものを各区の図書館に納品するほか、麻生図書館・柿生分館に貸出可のものも納品

	<p>指定管理者制度に関する学習</p> <p>専門部会のあり方検討</p>				<p>公開講座にする。講座案内や簡潔な報告を市民館だよりに掲載。専門部会による指定管理者評価は報告書類だけでいいのかが検討できないか</p> <p>報告を市民館だよりに掲載できないか(報告は簡潔なものでもいい); 川崎市全体の課題共有や取組みの参考にするために、他区の専門部会との交流を年1回か2回できないか</p>
<p>広報／市民・行政あるいは市民・市民をつなぐ媒体検討</p>	<p>市民館だよりの編集委員を利用者や市民にも拡大できないか</p> <p>「ひとのわ」などの事業案内、専門部会開催案内などを登録した人にメールで送ることができるか(麻生市民館だけではなく分館の事業案内も)</p>	○	○	○	<p>市民館だよりを広報以外に活用; youtubeも利用? 関心があるが、参加できない人への学習の機会の提供をYOUTUBEで行えないか</p> <p>哲学ふうカフェのように、講座に申し込んだ人にもメールで連絡できる人には一斉にメールで連絡できるといいのでは(紙しか受けない人はどうするのかは課題)</p>
<p>教育関連団体との連携</p>	<p>連携すべき団体のリストアップを行う</p>			○	<p>地域教育会議以外にどこがあるのか?(NPOも含めて)</p>
<p>図書館、他部局との連携、他区、広域連携を目指した地域課題の分析</p>	<p>どの社会教育振興事業になるかわからないが、麻生区の地域課題を知る・学ぶ講座があってもいいのでは。また、図書館も指定管理になる。図書館には集会室がないので、この観点から市民館は何ができるのか検討するような会議を立ち上げられないか</p>			○	<p>例: まちづくりの場合、コミュニティ施策や地域包括ケアなどとも連携できるといいのでは。「社会的弱者」と呼ばれる階層(弱者にしているのは社会であるが)への学びの支援を検討。また、環境保全や防災はスポットで考えるのではなく関連自治体など広域連携が必要。</p>

岡上分館

事業名など	短期	長期	行きたくなる	まちに飛び出す	地域のチカラを育	その他
市民提案事業	募集提案数を増やすには？(地域課題の分析などをおこなってみる)	地域課題解決につながる市民提案事業の実施			○	市民提案事業の発表は分館で行うのか市民館で行うのか
企画運営委員	分館レベルで企画運営委員募集可能？		○	○	○	
指定管理者制度に関する学習／社会教育に関する学習	指定管理についての説明会や今後の利用者懇談会についてのミーティング	定期的な(可能であれば月1)利用者懇談会開催			○	
図書室ひろば	郷土史学習を研究会と一緒に担える方を発掘		○			小学生などの自習室として開放もできないか
談話室活用	ふらっと立ち寄ることが可能な事業(対象とする当事者とのW		○			中高の放課後居場所？
分館だより	菅生分館のようなニュース発行は可能か？	月1はきびしいが2か月に1回ではどうか(市民館だよりとは			○	編集委員を職員以外にも拡大？
こ文・いこいの家との連携事業	連携事業可能かどうか検討(高校生までの居場所づくり、多世代交流事業など)	ふれあいまつりとは別に、サークル祭のようなイベントが継続的にできないか	○	○	○	ふれあいまつりのようなイベントではなく、交流につながるような継続的な事業は可能か？
岡上公会堂での出張講座	岡の上Cafeでの「ひとのわ」事業			○	○	岡上町内会と相談
和光大学など大学との連携事業	和光大学の場合、岩本先生や大学の地域連携の窓口と相談？		○	○	○	正式な事業にするなら大学との協定があった方が継続できる。和光大学での開催も考える
ゆらりんとの連携事業	ゆらりん家で「ひとのわ」事業				○	地域包括ケア部署との連携。発達障がいを持っている方、ひきこもりの方の居場所づくり